

9部

通信制大学院コーナー

【本コーナー以外のご参照ページ】

*【再掲】日本郵便の10月からの郵送物サービスの一部変更について

p. 4 参照

*コロナ禍における学習相談・自習室について p. 5～6 参照

*年末年始の休業について p. 38参照

*仙台駅東口キャンパスのご案内 p. 46～47参照

*その他ご案内 p. 47参照

1 // 今年度修了希望の方へ

10月25日までに修士論文提出願を提出された方へ、11月中旬頃に修士論文提出許可について文書でお知らせします。許可された方へは、一緒に修士論文製本セットを同封します。ご確認ください。

●修士論文提出締切日

修士論文提出締切日：2022年1月20日（16時必着） ※遅延不可

遅延した場合は一切受け付けいたしませんので、予めご了承ください。

●執筆・提出要領

『通信制大学院ガイドブック2021』 p. 74～83参照。

※原則として、指導教員の指示に従ってください。

●修士論文提出

(1) 提出物 ※詳細は『通信制大学院ガイドブック2021』 p. 80参照。

	提出物	注意事項
①	修士論文 (2部)	大学から送付した修士論文製本セットで製本。
②	審査票 (2枚)	1) 提出時には、主査欄に指導教員の署名／捺印が必要。面接指導の際などに各自で教員へ依頼。
		2) 郵送で審査票の署名捺印を依頼する場合は、教員への依頼文書を添付し返信用封筒を同封の上、事務室あてに送付。 * 修士論文提出（発送時）に自身の手元に届くよう、余裕をもって依頼してください。
		3) 副査欄は空欄で提出。 * 副査については、口述試問日程の通知とともにお知らせします。
		4) 審査票に記入する論文題名（主題・副題）は、修士論文に記載する論文題名（主題・副題）と同様。
		5) 学籍番号は学生証で確認し正確に記入。
		6) 修士論文とともに、 <u>折らず</u> に提出。
③	面接指導票	1) 提出時には、指導教員の署名捺印が必要。面接指導の際などに各自で教員へ依頼。
		2) 郵送で審査票の署名捺印を依頼する場合は、教員への依頼文書を添付し返信用封筒を同封の上、事務室あてに送付。 * 修士論文提出（発送時）に自身の手元に届くよう、余裕をもって依頼してください。
④	通信指導票	院生各自で記録。

(2) 提出方法

本学通信制大学院事務室宛で、郵送（書留）／宅配便で送付。

（〒983-8511 仙台市宮城野区榴岡 2 - 5 - 26 TEL. 022-292-8011）

●修士論文口述試問

- (1) 修士論文の最終試験は、本学で行われる口述試問です。
- (2) 日時は、『2021年度 学年暦』でお知らせのとおり2022年2月11日、2月12日のいずれかに行います。
- (3) 日時等は、修士論文提出締切日以降に、個々に通知します。
※日程の変更はできません。
- (4) 修士論文の可否は、口述試問後審査をして決定します。
- (5) 令和4年3月17日修了者の発表は、令和4年3月3日発送予定です。
※電話などでの問い合わせは一切お受けいたしません。
- (6) 修了を通知する際、令和4年3月17日(休)に行います学位記・卒業証書授与式のご案内をします。
※修了日が3月31日になる方は、卒業式への出席はできません。

●修士論文要旨集

修了した方の修士論文について、「修士論文要旨」を『通信制大学院修士論文 要旨集』としてWeb上で公開いたします。要領や提出時期について『通信制大学院ガイドブック2021』 p. 82をお読みください。

●その他

- (1) 課程を修了するためには修了要件を満たすことが必要です。専攻の要件をもう一度ご確認ください。『通信制大学院ガイドブック』 p. 22～24参照。
- (2) 修了予定者の課題レポートや試験レポートの提出締切日は、『通信制大学院 2021年度学年暦』に記載のとおりです。
課題レポート最終提出締切日：2021年12月2日
在宅レポート試験の最終締切日：2022年1月26日

- (3) 授業科目について修了要件を満たさない場合は、今年度修了できません。

2 来年度(2022年度)修了希望の方へ

来年度修士論文を作成するためには、今年度、修士論文作成許可条件を満たす必要があります。

●学位請求論文研究計画書【再掲】

- (1) 提出締切日：12月10日（必着）
- (2) 1年次の方で来年度（2022年度）修了を希望する方、2年次で指導教員が未決定の方は必ず提出してください。提出した「学位請求論文研究計画書」により、指導教員が決定します。
- (3) 提出方法・作成要領は『通信制大学院ガイドブック2021』p. 67～68参照。
- (4) 未提出の場合、来年度修士論文作成に取り組むことはできません。
- (5) 指導教員のお知らせは、来年1月中旬以降を予定。

●修士論文作成許可条件【再掲】

来年度修士論文を作成するためには、今年度中に既定の単位数を修得。
※詳細は『通信制大学院ガイドブック2021』p. 68「修士論文作成許可条件」をご確認ください。
※9月末に送付済み履修状況通知票で、ご自身の履修を確認し計画的にレポート等を提出してください。

●レポート提出

下記についてご一読いただきもう一度ご確認ください。

- (1) 年度内の課題レポート提出期限：2022年1月7日
- (2) 第4回在宅レポート試験の提出期限：2022年2月24日
- (3) 課題レポート1/7、第4回在宅レポート試験2/24までに提出し
評価が再提出となった科目は、今年度は単位を修得できません。
- (4) 課題レポートは、返却まで1ヶ月程度お時間を要しますので、締切日（1/7）に今年度単位修得を希望する課題レポートを提出しても、試験レポートの作成時間に余裕がありません。余裕を持って試験レポートに取り組みたい場合は、今年の最終レポート受付12/16必着で提出してください。
- (5) 指導教員が決定したとしても、今年度中に一定の単位を修得しなければ、来年度の修士論文作成許可が得られません。

3 各種お知らせ

●履修方法R：在宅レポート試験（単位修得試験）

- (1) 第3回在宅レポート試験結果：12/13発送予定。
- (2) 今年度修了希望者は最終在宅レポート試験 提出期限：1月26日
※結果は2/25に発送予定。
- (3) 来年度修了予定者は第4回在宅レポート試験 提出期限：2月24日
※結果は3/31に発送予定。

※今年度修了希望の方と来年度修了予定の方は、最終の締切日が異なります。ご注意ください。

●履修方法SR：スクーリングの事後課題

- (1) 履修方法SR科目（演習や研究法）は、スクーリング全日程受講後に事後課題レポートを提出し合格しなければなりません（『通信制大学院ガイドブック2021』 p. 28～29参照）。
- (2) 『科目別ガイドブック2021』の各科目の事後課題についてレポートを作成し、受講年度に提出してください。
- (3) 今年度の課題レポートの提出締切日：2022年1月7日（必着）。